

平成30年度から森林整備活動を開始した民間団体の記録

頁	民間団体	活動場所		関係局・署	
		県	市町村	森林管理局	森林管理署
1	石巻合板工業 株式会社	宮城県	東松島市	東北局	宮城北部署
4	株式会社 佐々木建設工業	宮城県	東松島市	東北局	宮城北部署
7	白石蔵王森林組合	宮城県	東松島市	東北局	宮城北部署
		宮城県	仙台市	東北局	仙台署
11	セイホク 株式会社	宮城県	東松島市	東北局	宮城北部署
14	ナイス 株式会社	宮城県	東松島市	東北局	宮城北部署
		宮城県	仙台市	東北局	仙台署
17	宮城十條林産株式会社・日本製紙木材株式会社協同ボランティアグループ	宮城県	東松島市	東北局	宮城北部署
20	株式会社 興林	福島県	相馬市	関東局	磐城署
26	福島復興風力合同会社	福島県	相馬市	関東局	磐城署

注：1) 白石蔵王森林組合においては、平成30年度から宮城県東松島市で活動を開始し、令和元年度から仙台市でも活動している。
 2) ナイス株式会社においては、平成30年度から宮城県東松島市で活動を開始し、令和元年度から仙台市でも活動している。

団体名	石巻合板工業 株式会社
社会貢献の森の名称	I P Mうしおの森
活動目標	震災で海岸防災林の重要性を再認識し、地元で立地する企業として失われた海岸防災林の再生活動に努める。
活動年度	平成 30 年度～
植栽地区の概要	箇所：宮城県東松島市矢本字浜須賀松国有林 546 林班ル小班 年度：平成 30 年度 面積：0.11ha 樹種：抵抗性クロマツ（550 本）
活動概要	東日本大震災により被災した海岸防災林の再生活動により、将来的に地域周辺の農地や居住地等に対する風害・潮害の防備や生活環境の保全に加え、津波の被害軽減効果を高度に発揮することを意義として、5 年計画で植栽から保育までの森林整備活動を行います。

1. 活動への感想

活動を通じて、海岸防災林の重要性を知ることができたと同時に、森林に関わる意識向上と社内でモラル効果が生まれたことは事実です。今後も様々な活動を通じて自然災害の減災対策に取り組んでいきたいと思います。

また、地球温暖化防止対策としての森林整備の重要性など様々な視点で森林との関わりを重視したいと思います。

2. 活動にあたっての工夫

準備期間を経て、実際に植栽に参加した方々からは、是非今後も参加したいと言う話をいただきました。ただ単に植栽を行わずに、おやつなどを用意してピクニック形式で行ったことで、楽しみながら植栽をしていただいたことが大きいと思います。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

自ら海岸防災林の重要性を知っていただきたいと思います。会社としては、社員のお子さんに興味を持ってもらい、次世代につなげたいと思います。

4. 海岸防災林への期待

ある地域では、きのこ等の栽培を震災前まで行っていたという話を聞いたことがあります。また、樹種にもよりますが、間伐材として有効活用できないでしょうか。さらに、バイオマスの原料として活用することもできないでしょうか。

5. 活動状況



I P m うしおの森 看板



記念写真



植栽初年度（平成 30 年、抵抗性クロマツ）



植栽初年度（平成 30 年、抵抗性クロマツ）



植栽 1 年後（令和元年、抵抗性クロマツ）



保育活動（下刈り令和元年 8 月 10 日実施）

団体名	株式会社 佐々木建設工業
社会貢献の森の名称	佐々木の森
活動目標	海岸防災林の活動を通じて、地域再生の一助を担い、社員や取引業者等へ海岸防災林の重要性を伝え、復興を支援していく。
活動年度	平成 30 年度～
植栽地区の概要	箇所：宮城県東松島市矢本字浜須賀松国有林 546 林班ル小班 年度：平成 30 年度 面積：0.11ha 樹種：抵抗性クロマツ（550 本）
活動概要	・平成 30 年 4 月 19 日 植栽 ・令和元年 8 月 9 日 下刈、清掃

1. 活動への感想

初めて植栽をしましたが、思った以上に早く植えることが、本数をもっと増やせばよかったと思いました。

何もわからないことだらけでしたが、宮城北部森林管理署にお世話になり、何とか活動ができました。

当社は、宮城県外にあるため、定期的に成長程度を見ることができませんが、宮城北部森林管理署が植栽木の状況を教えてくれたので、本当に感謝しています。

2. 活動にあたっての工夫

新幹線を利用しての参加であったため道具の持参ができず、宮城北部森林管理署の協力をえて借りることができました。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

令和2年7月 下刈

4. 海岸防災林への期待

風害・潮害防備、生活環境を守ってくれることを願います。

5. 活動状況



植栽初年度（平成 30 年）



植栽初年度（平成 30 年）



植栽初年度（平成 30 年）



植栽初年度（平成 30 年）

団体名	白石蔵王森林組合
社会貢献の森の名称	①芽吹き of 森 ②JForest 白石蔵王「いぶきの森」
活動目標	海岸防災林の再生活動を通して、東日本大震災により被災された地域の復興を支援するとともに、地域の皆様に元気を与える森づくりを目指す。
活動年度	① 平成 30 年度～ ② 令和元年度～
植栽地区の概要	①箇所：宮城県東松島市矢本字浜須賀松国有林 546 林班ル小班 年度：平成 30 年度 面積：0.22ha 樹種：抵抗性クロマツ（1,100 本） ②箇所：宮城県仙台市若林区荒浜字北山国有林 87 林班ヨ 1 小班 年度：令和元年度 面積：0.16ha 樹種：抵抗性クロマツ（700 本）
活動概要	震災によって失われた松林を再生し、地域の方々の憩いの場所を設けて、皆が元気になるような所を作りたいです。 ・令和元年 8 月 21 日 7 名参加 下刈、林内巡視、清掃等 ・令和元年 12 月 19 日 4 名参加 林内巡視、清掃等

1. 活動への感想

下刈の作業時に植栽木が順調に生育している事を確認しました。
また、生育の妨げになるほどの蔓等の発生は確認できませんでした。

2. 活動にあたっての工夫

植栽木が順調に生育しているので、今後は適期に下刈作業を行い、成長を見守りたいと思います。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

今後は、下刈の際に植栽木の生育状況を確認し、生育に支障のある蔓類等が発生した場合には、速やかに取り除き、影響が出ないようにしたいと思います。

4. 海岸防災林への期待

将来、成林した松林を憩いの場として様々な方が散策し、動植物が沢山集う場所に成るように育てていきたいと思っています。

5. 活動状況（東松島市矢本）



植栽初年度（平成 30 年、クロマツ）



植栽 1 年後（令和元年、クロマツ）



下刈作業



下刈作業



下刈作業



下刈完了



清掃作業



清掃作業



清掃作業



清掃作業



清掃作業



清掃作業

団体名	セイホク 株式会社
社会貢献の森の名称	セイホクWOOD・JOBグループ
活動目標	中長期的な『減災』を通じた社会貢献及び経済的損失の軽減予防に従事することを使命と考え、海岸防災林の植栽活動を実施することを目的とする。
活動年度	平成 30 年度～
植栽地区の概要	箇所：宮城県東松島市矢本字浜須賀松国有林 546 林班ル小班 年度：平成 30 年度 面積：0.12ha 樹種：抵抗性クロマツ（600 本）
活動概要	林業に携わる当社では、震災により多大な被害を受けた海岸防災林を復旧し、中長期的な『減災』を通じた社会貢献及び経済的損失の軽減予防に従事することが使命と考え、海岸防災林の植栽活動を実施しています。

1. 活動への感想

平成 30 年 11 月 10 日に『植樹祭』を開催すべく準備していましたが、前日までの降雨により植栽場所はぬかるみ、田んぼの中で実施しているようでした。一年を経過した現在では、一本も枯れることなく、100%の活着率で順調に成長しています。年に数回の除草作業も、苗木育成には必要不可欠な作業となりますので、継続して行い、今後の成長を見守りたいと考えています。

2. 活動にあたっての工夫

参加企業としては、当社に携わる物流会社(原料及び製品で搬送業務を担う)に声掛けし、20 数名による植樹祭となりました。苗木は、当社森林事業部で『抵抗性クロマツ 600 本』を育苗し、海岸防災林復旧の植栽に供給しました。今後、幼木が成長するに従って定期的な手入れが必要となりますので、グループ関係者が集まりやすい仕組み・仕掛けづくりを検討していきたいと考えています。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

みやぎ森林づくり支援センターにおける植樹活動が、宮城県内各地で毎年秋に実施されています。海岸防災林の復旧や皆伐跡地における植栽等が計画的に行われていますので、当社社員を中心に声掛けし、出来るだけ多くの方々に活動への参加を促していく考えです。

4. 海岸防災林への期待

海岸防災林復旧のための植栽でスタートしましたが、幼木が成木に成長し、防災・地域環境に寄与するまで長い年月が必要となります。その間、海岸防災林へ人の出入りが薄くなると森林環境が荒廃するおそれがありますので、若い世代への継続的な教育(海岸防災林復旧の必要性等)が不可欠と思われます。

5. 活動状況



当社で育苗した抵抗性クロマツ



植栽前の準備状況



植栽方法の説明



看板設置の様子



植栽初年度（平成 30 年 10 月）



看板を囲み記念撮影

団体名	ナイス 株式会社
社会貢献の森の名称	①ナイス東松島 海岸防災の森 ②ナイス仙台・荒浜 海岸防災の森
活動目標	海岸防災林の再生活動に携わることで、次世代に継承される森林の育成や海岸防災林に対する社会意識の醸成を通じて、安全安心な地域づくりに寄与する。
活動年度	①平成30年度～ ②令和元年度～
植栽地区の概要	①箇所：宮城県東松島市矢本字浜須賀松国有林546林班ル小班 年度：平成30年度 面積：0.11ha 樹種：抵抗性クロマツ550本 ②箇所：宮城県仙台市若林区荒浜字北山国有林87林班ヨ1小班 年度：令和元年度 面積：0.10ha 樹種：抵抗性クロマツ480本
活動概要（令和元年度）	10月11日 現地確認、計画作成 10月24日 現地測量 10月30日 地拵作業 10月 4日 植樹 11月20日 活着状況確認 ※ 活動は、NPO法人 宮城県森林インストラクター協会の協力の下で実施。

1. 活動への感想

植樹エリア全体の面積を広く感じ、消失した海岸防災林の広大さや津波の威力を改めて認識しました。

植樹の際には、植えている苗が時間を掛けて大きく育っていくと思うと、次世代に承継する森林づくりの大切さを改めて認識し、植える作業に自然と心が籠っていった。

2. 活動にあたっての工夫

NP0法人宮城県森林インストラクター協会と綿密な打合せを行い、できる限り詳細なアドバイスを求めました。

苗木は2ヶ月ほど前から供給先に連絡し必要分を確保しました。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

NP0法人宮城県森林インストラクター協会と管理契約を締結し、状況の確認や育林対応について助言を受けて実施する予定です。

枝打ちや間伐については体験希望者が多くなると予測しており、一般からでもできるだけ多くの参加者を募るなど工夫をしていきたいです。

4. 海岸防災林への期待

枝打ちや間伐の際には伐りだした枝葉や幹を利用したクラフトワークショップを実施するなど、森林環境教育も併せて実施していきたいです。

これまでも新入社員研修では被災地に赴き、被災時や復旧・復興に関する講義をしてきましたが、今後は可能な限り植樹場所も見学し、海岸防災林の教育をしていきたいです。

5. 活動状況



ナイス仙台・荒浜 海岸防災の森の標柱



標柱設置の様子



植栽初年度(令和元年、クロマツ)



活動事例写真(植樹時の様子)



活動事例写真(植樹時の様子)

団体名	宮城十條林産株式会社・日本製紙木材株式会社 協同ボランティアグループ
社会貢献の森の名称	宮城十條林産・日本製紙木材の森
活動目標 震災復興と防災林の成長 防災林の再生	
活動年度 平成 30 年度～	
植栽地区の概要 箇所：宮城県東松島市矢本字浜須賀松国有林 546 林班ワ小班 年度：平成 30 年度 面積：0.10ha 樹種：抵抗性クロマツ（500 本）	
活動概要 日本製紙木材(株)仙台営業所は震災前、石巻営業所として石巻市西浜町に事務所を有しており、当植栽現場は通勤経路となっていました。その為、震災前の景観の再生を目的とし、植栽から保育、下刈と5年間にわたり活動することとしています。 本活動については、宮城十條林産(株)・日本製紙木材(株)が協同出資にて参加しています。	

1. 活動への感想

震災復興を全員で祈願し、宮城十條林産（株）と日本製紙木材（株）の有志のメンバーが代表として参加し、お互いの会社のコミュニケーションを深める事が出来ました。

準備にあたっては、打合せから書類申請、看板等全ての手配は初めての事も多く困難もありましたが、両社が協力、工夫し、力を合わせて実施する事が出来ました。

2. 活動にあたっての工夫

石巻の大手合板工場様の協力を頂き、看板・苗木と手配する事が出来ました。

また、多くの方が参加できるように植栽日程の調整をしましたが、当日は雨となっていました。中止も考えましたが、ちょうど、雨の切れ間となり雨を避けて実施できました。また、看板の除幕式も実施し、イベントを盛り上げることができました。

苗木が倒れないよう、余り材を活用し添え木を現地で作りながら実施しました。宮城十條林産（株）は植栽のプロ集団である為、スムーズな植付けが出来ました。植栽後、保育として苗木の周りにバークを蒔くことにより、雑草の成長がおさえられ、下刈が楽にできました。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

- ・植栽現場近くに頻度良く訪問するので、林内巡視を実施し、苗木の成長を常に見守る。
- ・育成状況に応じて保育の計画の見直し。
- ・次回下刈時期において肥料の有無を確認。

4. 海岸防災林への期待

「ど根性ひまわり」や「奇跡の一本松」のように希望の海岸防災林になるよう、また、本当に有事の際、命を守ってくれる海岸防災林になることを期待します。

5. 活動状況



社会貢献の森の看板



植栽前の集合写真



植栽初年度(平成 30 年)
クロマツ



植栽 1 年後(平成 31 年)
クロマツ



植栽は台風の目の中で



1 年 8 ヶ月後

団体名	株式会社 興林
社会貢献の森の名称	松川浦しあわせの森
活動目標	未曾有の被害を受けた当地域の皆さんが、二度とこのような災害に出会うことなく、安全で幸せな日常生活が営まれるための一助となることを目標としています。
活動年度	平成30年度～
植栽地区の概要	箇所：福島県相馬市磯部字大洲国有林 2263 林班う1小班 年度：平成30年度 面積：0.27ha 樹種：抵抗性クロマツ（1,350本）
活動概要	植栽以降、厳しい立地条件の中での保育作業であることから、絶えず巡視を行い、全体活動計画書、年次計画書を基にその都度「適切な保育作業」にあたることに心掛けています。

1. 活動への感想

全員が一体となって取り組んでいる「松川浦しあわせの森」での保育作業は、社員一人ひとりがそれぞれの思いをもって手入れをして参りました。

結果、今では、「自分たちの森」といった意識が強く、併せて海岸保安林の必要性や海岸防災林の効果等に対しての意識も格段に高くなってきております。

今後においても、きめ細やかな「保育手入れ」を旨とし、目標達成に向け努めて参りたいと考えます。

2. 活動にあたっての工夫

当時、「福島県産クロマツコンテナ苗」の値段が他県産苗に比べて倍以上しており、大変苦勞しました。

今後、同様の企画をするにあたっては、経費的にあまり負担とならないような方策を、国側としても考える時代かな？と思います。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

山砂を主体とした土壌であることから養分が極端に少なく、その様な条件下での保育手法は、植栽後 3 年間の集中的な手入れが必要と考えております。この3年の間にどれだけ必要な養分を与え、どれだけ手を加えたかで、それ以降の成長に大きな違いが出て参ります。

「松川浦しあわせの森」は来年度で3年目を迎えますが、今まで同様また、それ以上の保育手入れをして参ります。

3年を経過する頃には、まず地下部根系の発達が活性化し、苗木から樹木に代わる時期と考えております。この時期になれば地下部だけでなく、地上部の成長も大変盛んになることから、4年目以降は現況を見極め、全体活動計画書を踏まえつつ、「乾燥、排水、風害、病虫害等」の対策に努めて参ります。

4. 海岸防災林への期待

震災復興にあたり、穏やかで緑豊かな松川浦の自然を取り戻すことは、地域の皆さんのみでなく、福島県民すべての願いでもあります。このような思いを踏まえ、将来、県内外の皆さんが憩いの場として「松川浦しあわせの森」へ足を運び、海岸防災林(海岸保安林)の必要性、自然環境の大切さを感じていただければと考えております。

5. 活動状況

・植 樹 （式） （平成 30 年 4 月 10 日）



植樹祭に参加した社員



(本社社長あいさつ)



植樹指導（磐城署担当官）



抵抗性クロマツ（コンテナ苗）



植 樹



植 樹

○1回 下刈り作業（平成30年7月25日～7月28日）



下刈り作業（作業中）



下刈り作業（完了）

○ 排水溝作設作業・排水作業（平成30年9月11日～9月14日）



排水作業（作業中）



排水作業（完了）

○ 補植作業（平成30年9月14日～9月15日）



補植用苗木



補植作業

○ 施肥作業（平成 31 年 4 月 3 日～4 月 5 日）



施肥作業



施肥作業（1 本当たり 3 個）

○ 除草作業（雑草根の除根）（平成 31 年 4 月 15 日～4 月 18 日）



除草作業（中）



除草作業完了

○ 雨水処理作業（平成 31 年 4 月 15 日～4 月 18 日）



雨水処理作業（床掘り）



雨水処理作業（排水管理設）

○ 2 回目 下刈り作業（令和元年 7 月 24 日～7 月 27 日）



下刈り作業（機械）



下刈り作業（人力）

○ 支柱設置・根踏み作業（令和元年 12 月 4 日～12 月 6 日）



支柱打込み作業



結束作業

○ 支柱設置・根踏み作業（令和元年 12 月 4 日～12 月 6 日）



根踏み



支柱設置完了

団体名	福島復興風力 合同会社
社会貢献の森の名称	ふく風の森
活動目標	海岸防災林の再生活動を通じて、地域の防災、生活環境の保全等に貢献する。また、地域の林業関係団体等との連携を図り地域振興、被災地復興支援に寄与する。
活動年度	① 平成 30 年度～ ②令和元年度～ ③令和 2 年度～
植栽地区の概要	①箇所：福島県 相馬市磯部 字大洲国有林 2263 林班う 1 小班 年度：平成 30 年度 面積：0.14ha 樹種：抵抗性クロマツ（700 本） ②箇所：福島県 相馬市磯部 字大洲国有林 2263 林班う 1 小班 年度：令和元年度 面積：0.12ha 樹種：抵抗性クロマツ（600 本） ③箇所：福島県 相馬市磯部 字大洲国有林 2263 林班う 1 小班 年度：令和 2 年度 面積：0.18ha 樹種：抵抗性クロマツ（900 本）
活動概要	弊社は、福島県再生可能エネルギー推進ビジョン等に基づき、阿武隈地域での風力発電事業の開発に取り組んでいる特別目的会社で、福島県内企業 3 社、首都圏企業 7 社の計 10 社で構成されています。風車建設予定地の殆どが国有林であり、許認可手続を進める中で、関東森林管理局を訪問した際に本活動を知り、地域貢献策の一環として参加することを決めました。活動概要は、構成企業の社員や家族等による植樹や保育管理（月 1～2 回の現地確認と除草作業）を実施しています。なお、現地確認は、台風や大雨の影響調査も兼ねて実施するよう心掛けています。

1. 活動への感想

かつて日本百景に数えられていた景勝地が津波で一瞬にして消失した事実が呼び戻され被害の甚大さを改めて感じました。クロマツ苗が着実に生長し、海からの飛砂、風、潮等から地域を守る重要な防災林となること、そして美しい松林の復活を願いながら丁寧に植樹を行いました。

また、本活動への参加を通じて、首都圏企業の社員が、この松川浦だけに限らず、来て見て触れて福島県の復興の状況を肌で感じられたことは、被災地復興の観点からも意義深いものとなりました。

2. 活動にあたっての工夫

弊社の阿武隈風力発電事業は、国が策定した「福島新エネ社会構想」の一環として、その実現に向け推進しており、地域経済への貢献も大きな柱となっています。その観点からも、地元の相馬地方森林組合のご協力を得ながら、植栽までの一連の活動は地域完結型で行っています。たとえば植栽地の事前準備、植栽指導、看板制作は同組合、クロマツ苗は福島県農林種苗農業組合を通じ地元の苗木生産業者から調達しています。そして昼食は、松川浦の食事店でとる等、被災地復興支援の一助となるよう工夫しています。

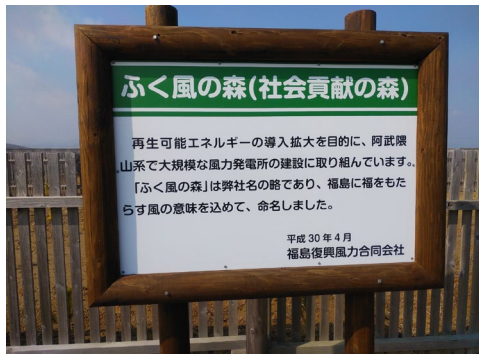
3. 今後の活動への抱負・活動予定

植栽後2年目以降は雑草が繁茂するため、冬期間を除き月1～2回程度の除草作業は必要と考えています。また、植栽後のクロマツは、厳しい自然環境が相手となることから、大型台風や大雨の後には、その影響を調査するための現地確認を実施したいと考えています。なお、万一、苗木の枯損や消失があれば、補植の実施を検討し、海岸防災林の保全に努めます。

4. 海岸防災林への期待

クロマツ植栽後、海岸防災林の機能を持つまでには相当の生長期間を要するため、息の長い取組が必要となります。一方、海岸防災林機能の地域への貢献度を考慮すれば、成林までの保育は、最も恩恵を受ける地域住民の協力を得ながら行うことが理想と考えられます。それには地域住民の参加の下、地域行事として海岸防災林の役割を学び、また、保育作業を通じて海岸防災林に親しむ場を作るなどの取り組みを支援する仕組みづくりが必要と思われます（地元町内会、地元小学校およびPTA等の活用、活動に要する経費の助成金化）。

5. 活動状況



H30 年「ふく風の森」の看板



記念写真



植栽活動①



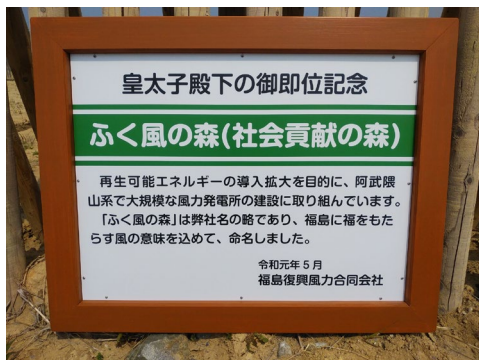
植栽活動②



植栽初年度
(H30 年、クロマツ 30 cm)



植栽 1 年半後
(R 元年 10 月、クロマツ 62cm)



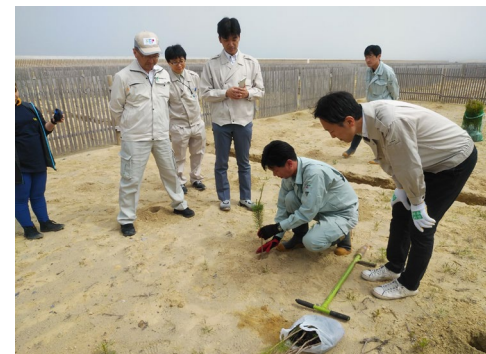
R元年「ふく風の森」の看板



記念写真



植栽活動



植栽指導



植栽初年度
(R元年、クロマツ 60 cm)



植栽半年後
(R元年11月、クロマツ 74cm)